














栗原市立長崎小学校閉校記念誌



ありがとう ～みらいにつなぐ栗原市閉校記念誌～

2013.03



 校歌		1
 校章・校旗・校木		2
 あいさつ		
長崎小学校の閉校に寄せて	栗原市長 佐藤 勇	3
長崎小学校の閉校に寄せて	栗原市教育委員会 教育長 亀井 芳光	4
長崎小学校の閉校 そして新たな学校へ	栗原市立長崎小学校 校長 氏家 勝昭	5
長崎小学校の閉校に寄せて	栗原市立長崎小学校 P T A会長 石川 茂史	6
 歴代校長		7～8
 歴代 P T A 会長		9～10
 学校の概要		11～12
 沿革の概要		
 開校～昭和30年代の沿革と当時の写真		13～14
～寄稿文～ 昭和20年代の長小時代を思う	昭和30年卒業生 佐々木 哲	13
長崎小学校閉校にあたって	昭和38年卒業生 狩野 守男	14
学校の統廃合について	昭和39年卒業生 門傳 仁	14
昭和40年代の沿革と当時の写真		15～16
～寄稿文～ 長崎小学校閉校にむけて	昭和48年卒業生 菅原 幸浩	16
昭和50～60年代の沿革と当時の写真		17～18
～寄稿文～ 思い出を胸に	昭和50年卒業生 桑折 茂	18
平成元年代の沿革と当時の写真		19～20
～寄稿文～ わたしのなかで、いきつづけるふるさと	平成13年卒業生 佐々木彩加	20
平成10年代の沿革と当時の写真		21～22
～寄稿文～ 輝く瞳に魅せられて	第38代校長 石川 安廣	22
平成20年代の沿革と当時の写真		23～24
 在校生から		25～27
 思い出のアルバム		28
	～いろいろな行事	29～31
	～運動会	32
	～陸上大会	33
	～水泳大会	34
	～修学旅行	35
	～学習発表会	36
	～田植え	37
	～稲刈り	38
	～集合写真	39
 あとがき		
	栗原市立長崎小学校 教頭 小野寺 直樹	40

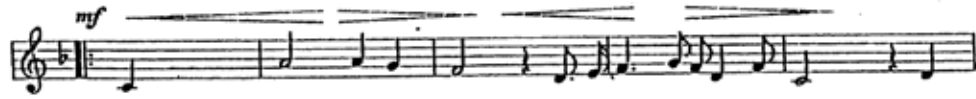


# 長崎小学校 校歌

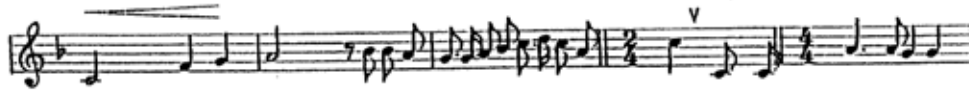
作詞 扇畑 忠雄

作曲 海鋒 義美

いきいきと (♩ = 112位)



ふせお るせお さらど とぎも のり あなそ たがび ごさえ のやまの まわと 一に二に はきあ



るしさ ののく のはく なさも あきの おかの ちゅうの もみじの あおの けいぶつと おうとつと きき たみか かなが なぎや るちの こかの



ろらち しりみ んそら りうい のの のおゆみ しめち えをを われわれ ららら はははす なもす ぶるむ あさす たわこ



らや や しかな ひみあ かどゆ りりみ ひみあ かどゆ ののなろ かぜえ にて

## 長崎小学校 校歌

作詞 扇畑 忠雄  
作曲 海鋒 義美

一 ふるさとの 愛宕の山に

春の花 秋の紅葉の  
匂うとき 高鳴る心

真理の教え われらは学ぶ  
あたらしい光り 光りの中に

二 せせらぎの 長崎川に

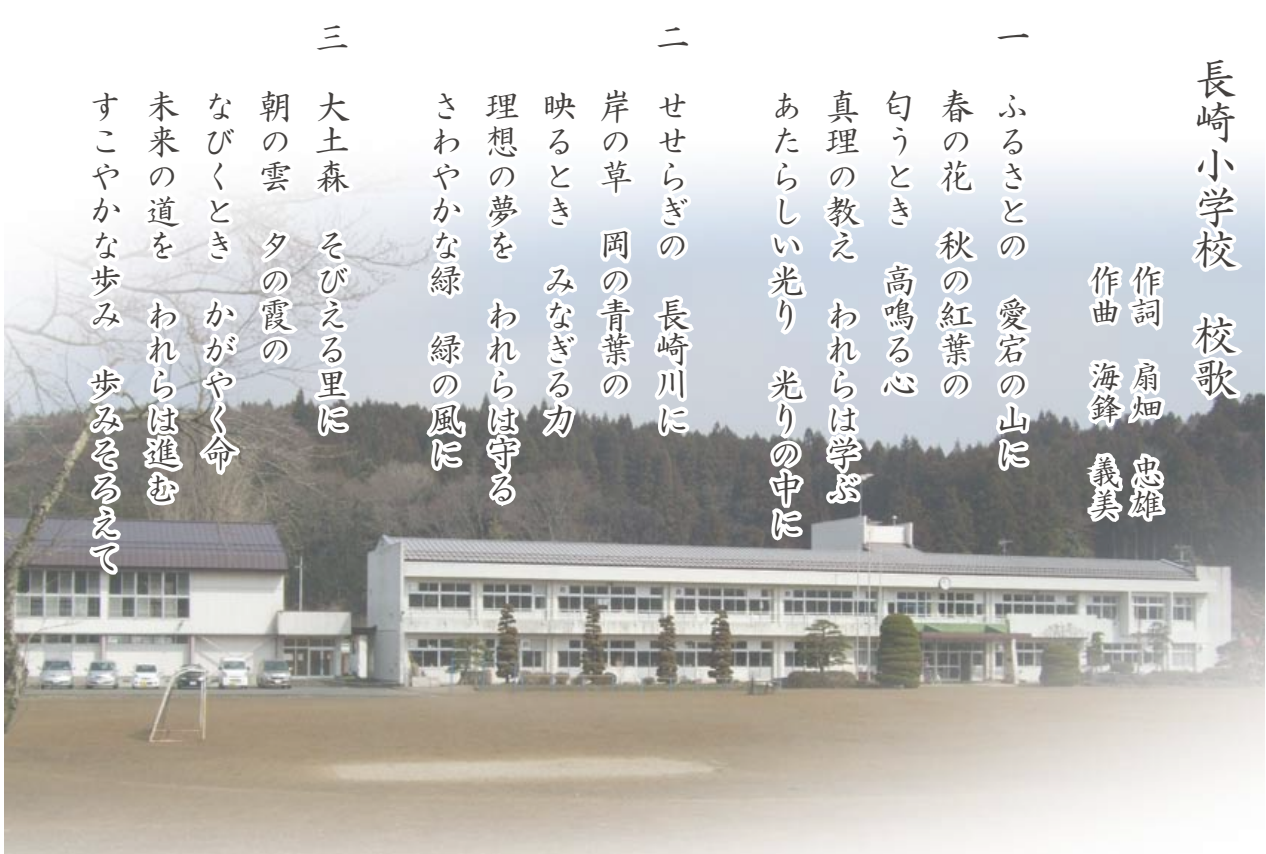
岸の草 岡の青葉の  
映るとき みなぎる力

理想の夢を われらは守る  
さわやかな緑 緑の風に

三 大土森 そびえる里に

朝の雲 夕の霞の  
なびくとき かがやく命

未来の道を われらは進む  
すこやかな歩み 歩みそるえて





### 校章と校木（校章の由来）



長崎を象徴する大土山（大土森）と長崎川の上流に群生するクマザサを組み合わせてデザインされた。

大土森には大きくたくましく伸び育つ子供の姿を重ね合わせ、クマザサには長崎川の流れから思い出されるさわやかで清らかな子供の心を重ね合わせながら子供たちがすこやかに成長することを願って制定された。

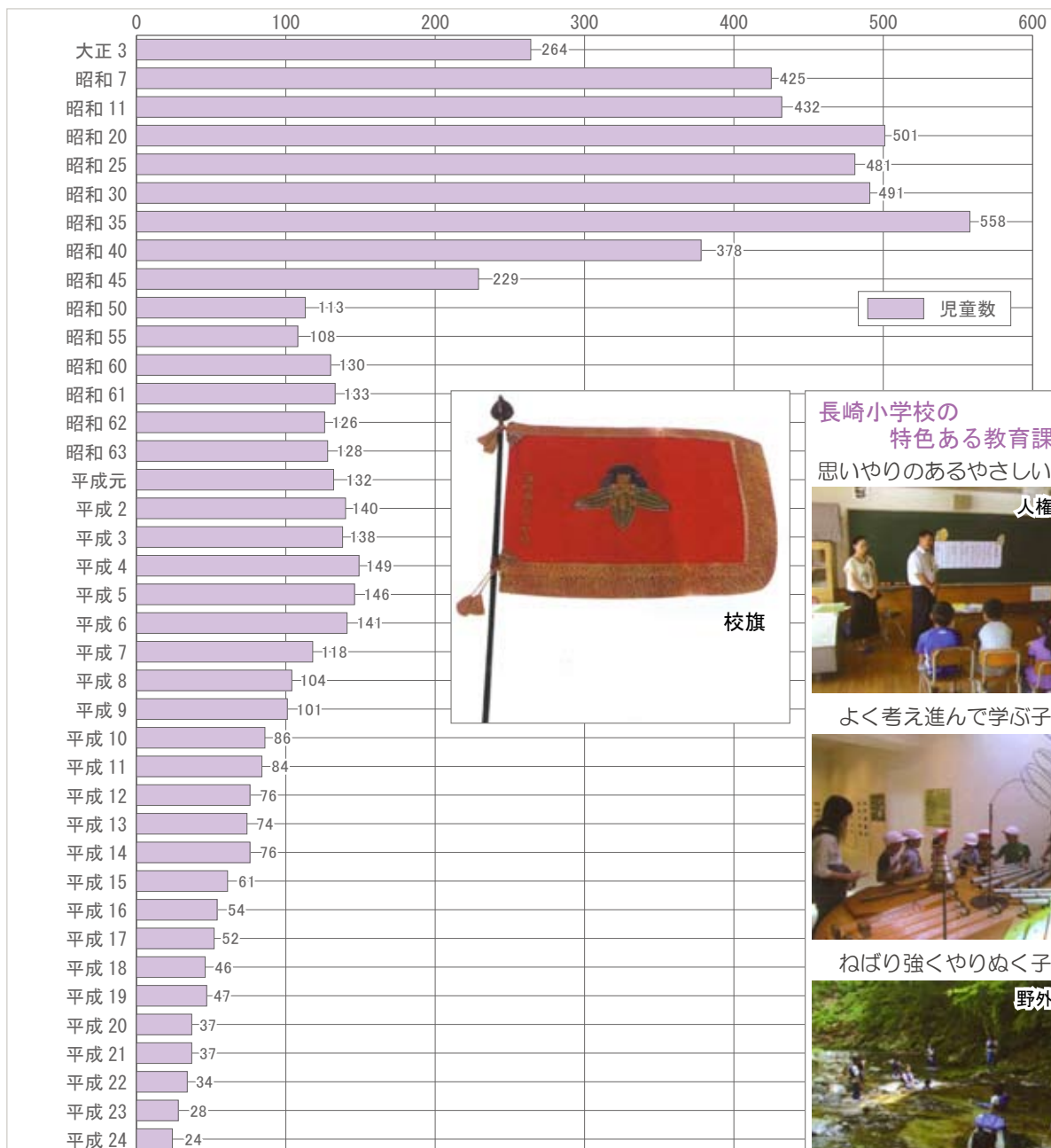
昭和 44 年 6 月 25 日制定

デザイン 菅原 一容 氏

校木桜と校章



### 校旗と児童数の推移



校旗

#### 長崎小学校の 特色ある教育課程

思いやりのあるやさしい子供



人権教室

よく考え進んで学ぶ子供



遠足

ねばり強くやりぬく子供



野外活動



## 長崎小学校の閉校に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

長崎川の清らかな流れ、田園風景が広がり、縄文時代の遺跡が残る自然豊かな地で、子どもたちに多くの学びを与えてきた長崎小学校が閉校するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

長崎小学校は、明治6年6月に寺院「廣最寺」を校舎として、開校以来140年にわたる長い歴史と伝統を築き、長崎地区の発展と地域文化の進展に重要な役割を果たしてこられました。

恵まれた地域環境の中、学校及びPTAまた児童個人にわたり幅広い分野において多くの優良受賞をされておりますことは、地域皆様の長年にわたる御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬ御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、小学校の合併や法改正による改称などを重ねながらも、健全な子どもたちの育成やPTA活動が活発に行われてきたのが長崎小学校であります。

特に、「心豊かで、主体的に生きる児童の育成」を教育目標とされ、清流長崎川に代表される自然環境を活かし、総合的な学習の時間、ふるさと学習、環境教育の時間等を通して児童一人ひとりに確かな学力が身に付くよう、小規模校の良さを活かしたきめ細かな学習活動など、創意工夫をされてこられました。また、複式学級であり、少人数のため、校内における縦割り班活動が定着し、学年を越えた交流が円滑になされてまいりました。

さらに、長崎地区の次代を担う子どもの成長を図る場として、保護者や地域の人々の学校に対する期待と関心は高く、長崎地区コミュニティ推進協議会、地域と連携し、無農薬・有機栽培の稲作の田植え作業、育成期の水管理の観察、稲刈り作業などを通して収穫の喜びと難しさなどを学び、地域と学校が一体となった教育が子どもたちを健やかに育ててきたものと感じております。

また、近年では平成20年6月14日に発生いたしました岩手・宮城内陸地震において、栗原市は最大震度6強を記録し、長崎地区においても、大きな被害を受けられました。不安でいっぱいだった子どもたちも復興に向け、一丸となって取り組んでいた矢先、東日本大震災に見舞われ、再び大きな被害を受けました。しかし、あの困難に対し大きな混乱もなく、立ち向かうことができたのは、先の震災で学んだ経験が活かされたものであると実感しております。

こうした中、児童・生徒数の減少などによる学校の再編が避けられず、長崎小学校においても本年3月31日をもって校史を閉じることとなりましたことは、非常に残念でなりません。これまで長崎小学校を巣立った皆様にとって、母校の閉校は何事にも耐え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものがあると拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ長崎の歴史と伝統が受け継がれていくよう願うものであります。

今後、「学府くりはら」の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、長崎小学校が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。



廣最寺





## 長崎小学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会  
教育長 亀井 芳光

平成25年4月、長崎小学校は一迫小学校・姫松小学校・金田小学校と再編し、新生「一迫小学校」として現在の一迫小学校校舎のもとでスタートすることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました長崎地区の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、長崎小学校は、明治6年6月に「廣最寺」内に開設され、同時に大川口・小僧に分教場が併置されました。その後幾度かの改称や移転が行われ、昭和45年1月16日に傍に清らかな長崎川が流れる現在の場所に校舎が竣工しました。

長崎地区は、地域と学校の絆が強く、地域と学校が一緒となり、子どもたちを育てて来られました。子どもたちは学校生活を送る中で「雪祭りそりっこ大会」「林間学校」「コミュニティとの合同運動会」などのコミュニティ行事を通して、地域の方々と多くのふれあいと交流を持たれ、そして多くのことを地域の方々から学びながら育ちました。今でも長崎小学校を卒業生された皆さんの思い出となって心の中に刻まれていることと思います。

しかしながら、少子化による児童生徒数の著しい減少や急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。再編するにあたり、これまで地域と共に歩み続けてきた学校や慣れ親しんできた校舎と別れることは、地域の皆様にとっては、寂しさや愛惜の念を禁じ得ないことと思います。

再編後は、子どもたちも地区の皆様もこれまで脈々と受け継がれてきた長崎小学校の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築き上げ、「地域とともに歩む 新しい学校」の創造に向けて取り組んでいってくれることを信じてやみません。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会はじめ関係機関との連携が大切であります。新たに仲間となる一迫小学校・姫松小学校・金田小学校の子どもたち、保護者、地域の皆様との交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校を創り上げていただきたいと願っております。

結びに、閉校にあたり、これまで永きにわたり長崎小学校を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げまして、閉校記念誌に寄せる言葉といたします。



**長崎小学校の閉校 そして新たな学校へ**

栗原市立長崎小学校

校長 氏家 勝昭

「ふるさとの 愛宕の山に 春の花 秋の紅葉の 匂うとき 高鳴る心 真理の教え われらは学ぶ あたらしい光り 光りの中に」と校歌にうたわれ、国道に沿って流れる清流「長崎川」には、ウグイやハヤ等を多く目にする事ができる長崎小学校は140年の歴史に幕を閉じることになりました。

明治5年8月太政官令第214号により、明治6年6月長崎村に公立長崎小学校を設けました。仮教室は萩生の廣最寺内に開設され、大川口・小僧両分教場を併置しました。平成24年3月末まで、5,359名の卒業生を送り出し、多くの卒業生が県内外において、さまざまな分野で活躍していると聞いております。このことは、保護者の方々、歴代校長先生始め教職員の方々、地域の方々の教育に対する温かい愛情、御支援、御協力の賜物であり、深く感謝を申し上げる次第です。

昭和45年度、掲げられた教育目標は、「教育基本法・学校教育法に則り、平和な国家及び社会の形成者にふさわしい国民を期して、心身共に健全な町民を育成する」でした。目指す児童像としてく明るくすなおな子ども 自分から進んで仕事をする子ども 仲間のひとりとして責任をもつ子ども すじみちをたてて考え、考えてから行動する子ども 健康でがまん強い子どもが設定されました。その後、平成12年に教育目標は、『心豊かで、主体的に生きる児童の育成』に改定され、現在に至っております。目指す児童像としてくよく考え進んで学ぶ子供 思いやりのあるやさしい子供 ねばり強くやりぬく子供に改定されました。

昭和44年6月には校章が制定されました。古くから長崎の原野には熊笹が密生し、馬を育てるには欠かせない植物として大事にされ、戦前、戦中を問わず軍馬の産地としても広く知られ、又現在では鱒の土産にも使用され、一般家庭にも竹ぼうきとして古くから使用されている熊笹を紋章の土台としました。

昭和57年には「さくら」（校庭東側の桜の木）が校木に制定されました。

平成3年には平太鼓を購入し、現在、総合的な学習の時間に「伝統を引き継ごう【太鼓練習】」として、成果を学習発表会や音楽祭で発表しています。

地域の次代を担う子供の成長を図る場として、保護者や地域の人々の学校に対する期待と関心は高く、保護者はもちろんのこと、長崎コミュニティ推進協議会、交通安全指導隊その他、地域の多くの人々の積極的支援と協力をいただいております。

輝かしい歴史と伝統のある学校が閉校になることは、校長として、寂しく思いますが、少子化の影響は免れることはできません。

今後、校名が変わっても、これまで築いてきた歴史や伝統が確実に新生一迫小学校に受け継がれ、融和を図りながら、地域に親しまれる学校となるよう祈っております。

結びに、閉校にあたり御尽力いただきました栗原市教育委員会及び一迫地区小学校再編準備委員会の皆様、関係各位に御礼と感謝を申し上げ、閉校記念誌への言葉といたします。





## 長崎小学校の閉校に寄せて

栗原市立長崎小学校  
PTA会長 石川 茂史

30年以上前に長崎幼稚園に入園して以来、長崎川、愛宕の山、大土森、校庭の桜の木々に見守られながら学び、遊び、時には怒られ卒業した思い出のある長崎小学校、その当時の景色と変わらない学び舎に、自分の子供たちも学び色々な思い出を作ってきました。

運動会、奉仕作業、学習発表会、学校田での稲作づくり等、PTA会員だけでなく地域の皆様に協力を頂きながら行事を行う中、長崎小学校は子供たちの学びの場にとどまらず、地域の団結の場、憩いの場として地域の心のよりどころになっていたと思います。

特に今年度で長崎小学校と長崎地区合同で行うのが最後となった、平成24年9月2日開催された第64回長崎地区市民・長崎小学校合同体育大会での人文字「長小アリガトウ」の製作には多くの人が集まっていたいただき、長崎小学校の児童、先生方、PTA会員、地域の皆様との団結力の姿と長崎小学校への感謝の思いの成果だったと思います。

明治6年6月に開校した長崎小学校も一迫地区小学校の再編により約140年の歴史に幕を閉じることになりました。

一迫地区小学校の再編は、長男が入学する直前に再編計画の説明会が開催され、市教育委員会から計画の説明会があり当時は、絶対に自分の子供が一人になっても長崎小学校に通わせたいという気持ちでおりましたが、年々児童数が減り複式学級になっていき行政区によっては、小学校に通う児童がいなくなる中、親としては友達が多いほうが良いと考えるようになり、長崎小学校が閉校となれば、小学校の校庭や体育館を会場に開催してきた、盆踊り、敬老会、レクリエーション大会等の長崎地区民の集う場として今後どのようなようになるか考えると、長崎地区民としては小学校が残ってほしい、いまだに自分自身、気持ちの整理がつかない状況での閉校となることは残念でなりません。

これから子供たちは、旧一迫町の区域にある一迫小学校、姫松小学校、金田小学校の3校と一つになり、一迫小学校の校舎を利用し新たな一迫小学校で学んでいくこととなります。学級数、児童数も増え今まで子供たちが慣れ親しんだ環境から変化することに、戸惑うこともあると思いますが、子供たちには長崎小学校で培った「長崎っ子」魂で早く新しい学校環境に慣れてほしいと願っております。

短い期間での閉校記念誌発行という、重大な作業に資料の収集、原稿の依頼から編集までご苦労された方々、閉校記念誌への寄稿に協力いただいた方々には大変感謝しております。

長崎小学校児童の育成にご尽力頂きました歴代の校長先生をはじめ、諸先生方、保護者の皆様、地域の皆様方に深く感謝申し上げます。今後共、地域の子供たちに温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます閉校にあたっての挨拶と致します。



長崎地区市民・長崎小学校合同体育大会  
人文字「長小アリガトウ」  
撮影 栗原市市政情報課





初代	明治6年度～明治7年度	小笹市郎治	校長
第2代	明治8年度～明治19年度	湯目 倫平	校長
第3代	明治20年度	梶目謙三郎	校長
第4代	明治21年度～明治26年度	宮城 寅藏	校長
第5代	明治26年度～明治37年度	大津 千尋	校長
第6代	明治37年度～明治41年度	佐藤文之進	校長
第7代	明治41年度～大正3年度	細川 由己	校長
第8代	大正3年度～大正5年度	三塚源九郎	校長
第9代	大正5年度～大正7年度	浅野 久藏	校長
第10代	大正8年度～大正9年度	細川 由己	校長
第11代	大正9年度～大正11年度	鹿野 毅	校長
第12代	大正11年度～大正12年度	清水治右エ門	校長
第13代	大正12年度～大正13年度	上坂 信勝	校長
第14代	大正14年度～昭和2年度	菅原 哲	校長
第15代	昭和3年度～昭和4年度	菅原弥太郎	校長
第16代	昭和5年度～昭和6年度	佐々木岩尾	校長
第17代	昭和7年度～昭和9年度	高橋甚兵衛	校長
第18代	昭和10年度～昭和12年度	戸田 友直	校長
第19代	昭和13年度～昭和16年度	菅原 莊司	校長
第20代	昭和17年度～昭和18年度	新沼 肇	校長
第21代	昭和18年度～昭和20年度	日野 徳寿	校長





第22代	昭和21年度	菅原 博	校長
第23代	昭和22年度～昭和26年度	熱海 實	校長
第24代	昭和27年度～昭和32年度	村山 通	校長
第25代	昭和32年度～昭和36年度	柴田 豊寿	校長
第26代	昭和36年度～昭和37年度	三浦 瑩	校長
第27代	昭和38年度～昭和41年度	鈴木 正夫	校長
第28代	昭和42年度～昭和47年度	新妻 シマ	校長
第29代	昭和48年度～昭和50年度	松田 茂夫	校長
第30代	昭和51年度～昭和55年度	田代 忠司	校長
第31代	昭和56年度～昭和59年度	白鳥 達郎	校長
第32代	昭和60年度～昭和61年度	狩野 欣一	校長
第33代	昭和62年度～平成元年度	田口 正	校長
第34代	平成元年度～平成3年度	菅原 陸郎	校長
第35代	平成4年度～平成5年度	日野 徳朗	校長
第36代	平成6年度～平成7年度	水谷 恒男	校長
第37代	平成8年度～平成9年度	伊東 邦男	校長
第38代	平成10年度～平成13年度	石川 安廣	校長
第39代	平成14年度～平成15年度	佐藤 吉彦	校長
第40代	平成16年度～平成17年度	鈴木 寿美夫	校長
第41代	平成18年度～平成19年度	佐藤 久	校長
第42代	平成20年度～平成22年度	菅原 久子	校長
第43代	平成23年度～平成24年度	氏家 勝昭	校長





初代	昭和22年度～昭和24年度	菅原 留治	会長
第2代	昭和25年度～昭和26年度	新妻 巖	会長
第3代	昭和27年度～昭和31年度	狩野 健寿	会長
第4代	昭和32年度～昭和35年度	貝沼美家子	会長
第5代	昭和36年度～昭和38年度	千葉 富悉	会長
第6代	昭和39年度～昭和41年度	尾崎 健児	会長
第7代	昭和42年度～昭和47年度	佐々木清人	会長
第8代	昭和48年度～昭和49年度	門伝 克美	会長
第9代	昭和50年度～昭和51年度	石森 久悦	会長
第10代	昭和52年度～昭和57年度	石川 憲昭	会長
第11代	昭和58年度～昭和60年度	大内 栄	会長
第12代	昭和61年度～平成元年度	狩野 哲郎	会長





- |      |               |       |    |
|------|---------------|-------|----|
| 第13代 | 平成2年度～平成4年度   | 狩野 守男 | 会長 |
| 第14代 | 平成5年度～平成6年度   | 新妻 信男 | 会長 |
| 第15代 | 平成7年度         | 小山 清一 | 会長 |
| 第16代 | 平成8年度～平成10年度  | 門傳 仁  | 会長 |
| 第17代 | 平成11年度～平成12年度 | 佐藤 友政 | 会長 |
| 第18代 | 平成13年度        | 大内 武義 | 会長 |
| 第19代 | 平成14年度～平成15年度 | 小山 修一 | 会長 |
| 第20代 | 平成16年度～平成17年度 | 藤村 典尚 | 会長 |
| 第21代 | 平成18年度～平成19年度 | 狩野 文彦 | 会長 |
| 第22代 | 平成20年度～平成22年度 | 桑折 茂  | 会長 |
| 第23代 | 平成23年度        | 菅原 幸浩 | 会長 |
| 第24代 | 平成24年度        | 石川 茂史 | 会長 |





### 学区の概要

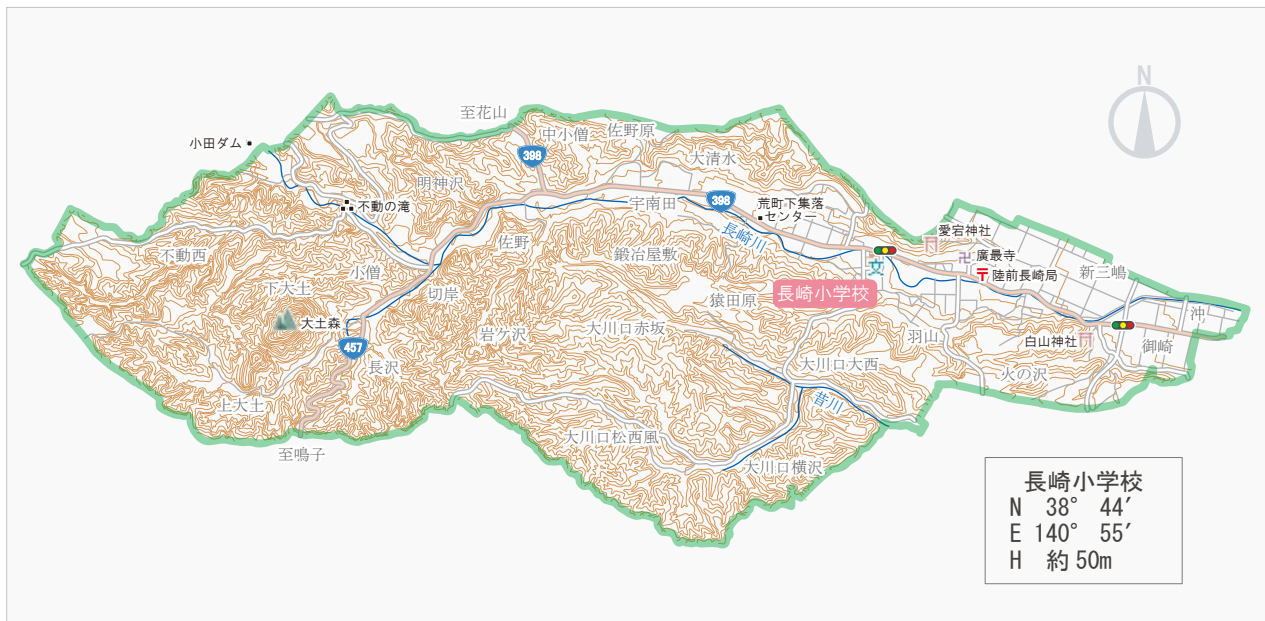
本学区は栗原市一迫の南西部に位置し、南部を大崎市岩出山、北・西部を栗原市花山に接する山間地である。当学区の中央を国道398号線が東西に走り、一迫地区内はデマンド交通（一迫ふれあいタクシー）が通っている。

国道に沿って流れる清流「長崎川」には、ウグイやハヤ等を多く目にすることができる。また、辺りの山々は、春の芽吹きから秋の燃える紅葉まで、その美しい姿を楽しませてくれる。このように、当学区は自然豊かな地域となっている。また、学区内の高田・日向・大栗・千代子沢・大土・猿田原・松西風等の遺跡から縄文時代の遺物が数多く出土しており、当時の生活の様子をうかがい知ることができる。

本地域の産業は農業が中心となっており、米作りを主としながら、菊・椎茸栽培や酪農及び肉牛の飼育等の複合経営も見られる。また、地形を利用しての林業も主要な産業となっている。



### 学区略図



### 児童・保護者・地域の実態

児童の家庭のほとんどが、2世代ないし3世代同居の兼業農家である。両親共働きのため、帰宅後の児童の生活は祖父母の世話に頼ることが多い。その中で、幼児期より愛情いっぱいの家庭に育った児童は、素直で思いやりの心を持ち、朝夕の明るいあいさつなど、よい習慣が身に付いている。



縦割り活動



地区民との合同運動会



無農薬・有機栽培による米作り



校舎のようす



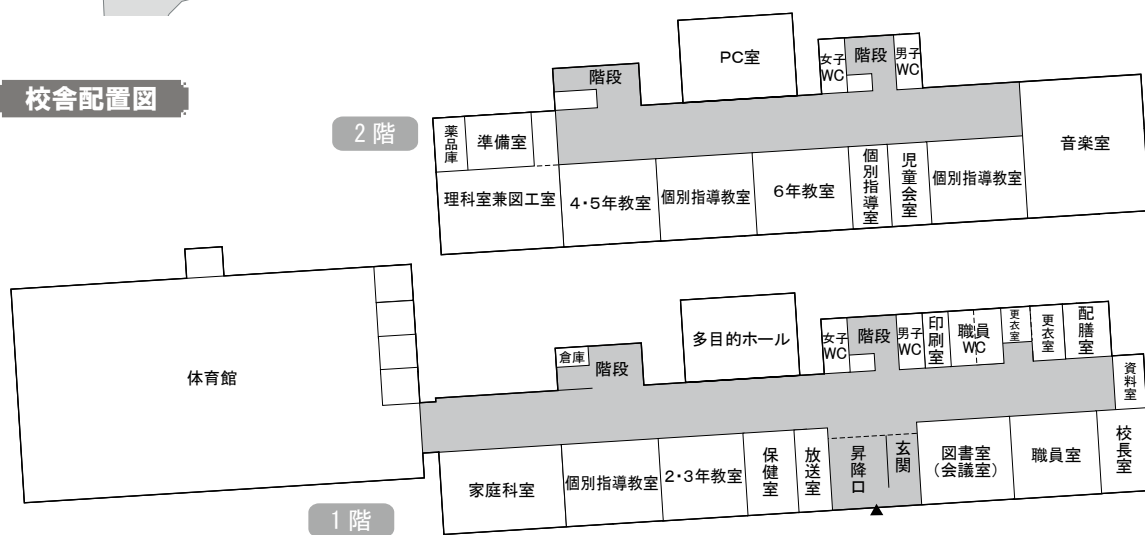
校舎全景写真



学校平面図



校舎配置図



## 沿革

年月日	概要
明 6. 6.	廣最寺内に長崎小学校開設、大川口・小僧両分教場併置
明 8.	萩生西に33坪の校舎新築移転
明 16. 3.	大川口分教場新築
明 18.	長崎初等小学校と改称
明 20.	長崎小学校と改称
明 23. 1.	萩生田に120坪の二階建校舎新築移転
明 34. 3. 29	高等科併置・長崎尋常高等小学校と称す
明 44. 11.	小僧分教場、小僧囲に新築移転
大 15. 12. 15	現在地（上中嶋）に新校舎落成（392坪）
昭 16.	長崎国民学校と改称
昭 22. 4. 1	6・3制施行、長崎村立長崎小学校と改称
昭 26. 12. 13	小僧分校新築（荒町68番地、121坪）
昭 28. 10. 12	分校教育研究指定校（小僧分校）公開研究
昭 28.	補食給食設備の設置
昭 30. 4. 1	町村合併、一迫町立長崎小学校と改称
昭 33. 4. 26	栗教協全教科研究指定校
昭 34.	県教委指定分校教育指定校（大川口分校）

集合写真



## 昭和20年代の長小時代を思う

昭和30年卒業生  
佐々木 哲

学制公布により長崎小学校が明治6年廣最寺のお寺を仮教室としてスタートする。

私が長崎小学校に入学したのが昭和25年の年だった。

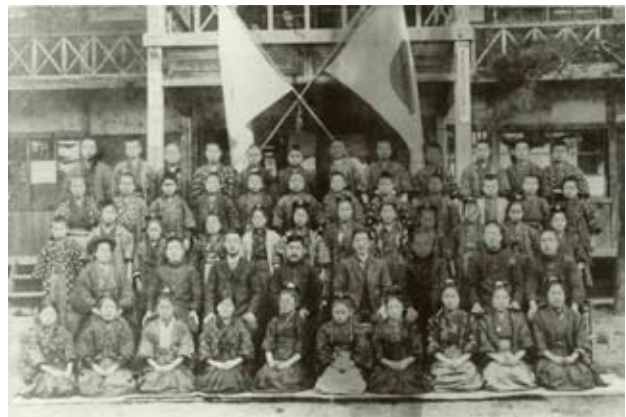
この頃、昭和25年代の社会背景は昭和20年太平洋戦争の後であり、マッカーサーやアメリカの進駐軍が日本に駐留していた時代である。終戦からその後、5年後に長崎小学校に私達は入るのである。今思えば戦後の混乱期から戦後の復興期にはいる時代であった。

その長崎小学校も平成25年3月をもって閉校される。今行政区長として、ふりかえれば、長小の学習発表会、児童たちが一生懸命頑張った姿、が思い浮かぶ、そして社会に飛び立っていった卒業生一人ひとりが、思い出のある、ふるさとの母校である長崎小学校が、閉校されるということは、誰もが、惜別の思いがする。同時に、万感な思いと残念なる思いがする。しかし、児童数が激少している情勢を見れば、閉校も仕方がない、統合小学校に飛び立っていく児童達に、長崎小学校卒業生先輩として、これからも頑張れよと、児童たちにエールを送りたい。

そして私達が学んだ長崎小学校の校舎（まなびや）が、卒業生の心のシンボルとしていつまでも永遠に胸の中に灯（とも）しながら、長い間、ありがとう御苦労さんでしたと、校舎に別れの心情を告げて結びと致します。

集合写真

長崎尋常高等小学校「卒業記念写真」大正13年3月25日



## 長崎小学校閉校にあたって

昭和38年卒業生

長崎コミュニティ協議会会長 狩野 守男

長崎小学校がなくなる？嘘でしょう。そんな気持ちでいっぱいでした。

私が入学したとき大川口分校20人・小僧分校22人・本校63人で105人もおりました。今、長崎小学校の全校児童は24人なそうです。これでは、仕方がないのかなと思われそうですが、長崎地域に学校がなくなることは、地域の拠点がなくなることになり、とても寂しく悲しいできごとです。

還暦の同級会で学校閉校の話をいたしました。「住むのには良いところなのに、生活するのには仕事がないもの仕方がない。」「それなら定年まで働いて老後をつとで生活すれば良いのでは？」こんなやり取りをしたことが思い出されます。また、いつの日か子供たちの声が聞こえる地域にしたいものです。



奉安殿

小学校での遊びは、ごもくボールでの三角野球。バットは、手作りでした。冬は竹で作った竹スキー、道具は皆自分で作ったものです。学校の帰りは、わざわざ遠回りし、畑の物や生り物など黙って食べ何回怒鳴られたかわかりません。食べ物も少なく大変な時代でしたが、今振り返って見るととても懐かしく楽しい思い出です。母校がなくなっても長崎小学校の卒業生として誇りを持ってこれからも地域の為出来る事をして行きたいと思います。

## 学校の統廃合について

昭和39年卒業生

第16代PTA会長 門傳 仁

今年度をもって長崎小学校が廃校となります。学校統廃合の理由が、「小規模校は、きめ細やかな指導が可能であるが、一定の規模での集団による教育環境を確保していく必要がある・・・」とのこと。残念としか言いようがありません。

さて、この地は原発事故で放射能に汚染されてしまいました。事故後、文部科学省から出た「福島県内の学校等の校舎・校庭等の利用判断における暫定的考え方」で20msv/年という暫定基準ができましたが、その基準がいつの間にか全国の学校の基準になってしまいました。この事にビックリしつつ、できるだけ子供達を放射能の汚染から遠ざけることが、この際肝要なこと。原発事故があって1年半後にやっと校庭の除染、その意味では、早々に汚染された場所を去るべきだったのかも知れません。

かつて長崎小のPTA会長を務めさせていただいた事があります。児童も父母も地域の人と一緒に校歌を歌う学校は我が「長崎小学校」だけでした。この事は私の誇りでした。もう「ふるさとの愛宕の山の・・・」が歌えない。小規模校ながらも、このような学校が廃校になるのは本当に忍びない事ではありますが、統廃合が決定された以上は、長崎小出身の子供達と長崎地区の子供達が、新しい学校で大いに活躍することを心から期待しています。



校舎





# 沿革

年月日	概要
昭40. 4. 1	大川口分校廃止
昭41. 2.12	校歌制定
昭42. 4.10	完全給食実施（一迫町給食センター）
昭43. 4.10	一迫町立幼稚園長崎分園併設
昭44. 3.19	小僧分校廃止
昭44. 6.25	校章制定
昭45. 1.16	新校舎竣工移転
昭45. 3.	特殊学級認可
昭46. 8. 7	プール竣工
昭49. 1.27	開校100周年記念式典及び校旗樹立



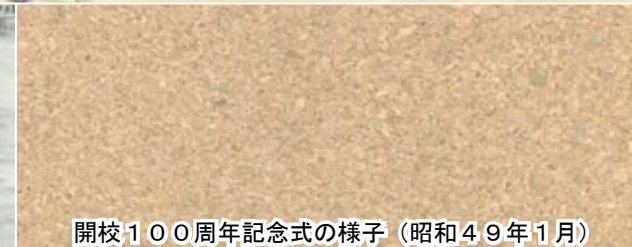
運動会 ダンス



運動会 開会式



プール開き



開校100周年記念式の様子（昭和49年1月）





## 長崎小学校閉校にむけて

昭和48年卒業生

第23代PTA会長 菅原 幸浩

私は昭和42年、長崎小学校に入学しました。しかも小僧分校です。1年生と2年生、3年生と4年生がそれぞれ複式学級でした。44年からは分校が廃止され、本校（今の小学校）に通学しました。

当時は木造の2階建ての校舎でかなり古かった記憶があります。その校舎の後ろ側で今の校舎を新築していたのをはっきり覚えています。当時はプールもなく長崎川で泳いでいました。朝・昼、川に白旗が立っているとうれしかったことを思い出します。

当時の思い出の一つ。私が6年生の時、西部体育祭が長崎小学校を会場に行われ、何の因果か私が選手宣誓をすることになり、必死になって原稿を考えましたが思いつかず、先生が作ってくれた原稿をかなり緊張しながら宣誓したことを覚えています。

その大会で私は、走り高跳びで1m33cmを跳んで優勝しました。

閉校、今この言葉を聞くとかなり淋しく感じます。私や諸先輩方の思い出がぎっしり詰まった学び舎がなくなるのはつらいです。

しかし、私も親になり、娘・息子4人の子供たちを長崎小学校に通わせ卒業させましたが、現状・未来を見据えた時、このままの状況でいいのか考えました。再編すればいろんな問題が見えてくると思います。今まで以上にPTAの皆さんの協力が必要になります。大変だと思っておりますがお願いします。

最後に、長崎小学校の歴史を支えて頂いた先輩方や先生方、そして何よりも地域の皆さんに、心より感謝し結びとします。長い間ありがとう。



校庭西側に木造校舎がありました

校舎全景





# 沿革

年月日	概要
昭 50.	校地外周フェンス設置
昭 53. 10. 12	文部省指定道徳教育協同推進校公開研究会
昭 57. 12. 10	校木制定「さくら」
昭 58. 3. 6	体育館落成
昭 61.	体育館暗幕取りつけ
昭 63.	プール改修工事



集合写真



昭49年度 卒業生





## 思い出を胸に

昭和50年卒業生

第2代PTA会長 桑折 茂

歴史と伝統を誇る長崎小学校もこの春8人の卒業生を送り出し、140年に渡る長崎小学校の歴史に幕を下ろすことになりとても淋しく思います。平成24年3月まで、5359名の卒業生を送り出した学校です。

私も40年前、木造校舎から鉄筋コンクリートの校舎に変わった時代であらためて時代の流れを感じます。入学式の写真、校庭に長小の人文字、5・6年合同の修学旅行、卒業生の集合写真どれも思い出のつまった写真です。

みなさんにも思い出のある小学校ですが、年々児童数の減少により再編しなければならないと言う、現実を受け止めなければならないと痛感しております。地域のみなさまには、学校行事等、日ごろよりご支援・ご協力を頂き職員・保護者と子ども心より感謝を申し上げます。児童は新一迫小学校へ通学しますが地区の行事等でお世話になります。そのさいはご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

入学式の記念撮影



校舎全景 昭和52年





# 沿革

年月日	概要
平元. 10.	校舎大改修（屋根設置、壁全面塗装）
平 2. ～	ボランティア活動普及事業協力校指定
平 3.	外部体育倉庫設置 児童会の歌制定
平 4. 6.13	開校記念日制定
平 4. 6.23	プール改修工事
平 6. 4. 1	一迫町立長崎幼稚園認可
平 6. 5.10	校庭拡張、自転車練習場、自転車置場設置
平 7. 8.	校地外周フェンス新設
平 8. 3.	鼓笛隊ユニフォーム寄贈
平 8. 7.	プール監視所設置
平 9.	電灯盤改修工事



長崎小学校 鼓笛隊



運動会での演技  
(表現)



田植え・稲刈り  
学校田は現在とは違う場所に





## わたしのなかで、いきつづけるふるさと

平成13年卒業生  
佐々木 彩加

私が長小から巣立ってから、10年余りの時が経ちました。今はふるさとを離れて千葉県のとある中学校で教師をしています。学校現場で働いていると、ふとした瞬間に長小での日々が思い出されます。

当時は、全校児童数が100人程度だったと記憶しております。私の学年は人数が少なく、10人で学校生活を送っていました。高学年になると、この少ない人数で学校の様々な活動をリードしていかなければならず、誰もがリーダー的存在でした。誰もがリーダーとして活躍できる長小で育ったことは、とても恵まれたことだと思います。

たくさんの行事の中でも印象強いのは、プール開きの際に着衣水泳大会が行われたことです。水辺での事故に備える「安全教室」が目的だったのだと今では分かるのですが、当時は服を着たままプールに入るといふ非日常が楽しかったのを覚えています。

学年の行事としては、6年生の修学旅行が思い出深いです。班別行動や体験学習はもちろんのこと、修学旅行と言えば宿での思い出がつきもの。部屋の割り当ては当然男女別でしたが、男子が女子部屋でずっと遊んでいて、担任の先生を驚かせ（呆れさせ？）てしまった、という思い出があります。

そんな思い出のいっぱい詰まった長小が閉校になるのはとても寂しいことです。

しかし長小で育ったたくさんの人々がその日々を忘れない限り、ふるさとはずっと「そこ」にあると信じています。

持久走大会



修学旅行

栗原郡小中学校音楽祭





# 沿革

年月日	概要
平 10. 4.	愛鳥モデル推進校指定 (県教委)
平 10.	校舎内大規模改修 (床、腰板)
平 10.12.	多目的ホール、コンピュータ室増設
平 11. 3.31	一迫町立長崎幼稚園廃止 (一迫幼稚園に統合)
平 11.10.15	コンピュータ 14 台設置 (児童用 10 台、教師用 2 台、事務用 2 台)
平 13. 3. 6	体育館放送設備の充実
平 13. 3.27	校名板設置
平 13. 6.	プールサイド改修工事
平 14. 3.	換気扇取り付け (3・4・5 年教室)
平 14. 4. 1	町教委指定「心をはぐくむ教育活動推進校」
平 14. 6.	プール濾過装置交換
平 15. 8.	グラウンド改修工事、校舎裏樹木伐採
平 16. 4.	1・2 年複式学級開始
平 16. 9.	「よい歯の学校」表彰
平 17. 4. 1	町村合併、栗原市立長崎小学校と改称
平 17. 4. 1	地域の教育力向上支援事業指定
平 17. 9.	「よい歯の学校」表彰
平 17. 9.21	「交通安全優良学校」表彰
平 18. 6. 1	小田ダム完成記念式典に全校児童参加
平 18. 9. 3	運動会を地区民体育大会と合同開催
平 18. 9.	「よい歯の学校」表彰
平 19. 2.	体育館屋根全面塗装
平 19. 7. 5	地域の教育力向上支援事業公開研究会



学芸会伝統全校長崎太鼓演奏 平成12年10月22日



5 学年 P T A 行事大土森登山  
大土森をバックに集合写真  
平成13年6月16日





## 輝く瞳に魅せられて

第38代校長 石川 安廣

市の広報などで統合の計画があることは知っていましたが、こうして現実味を帯びてくると、一抹の寂しさを感じ、勤務した当時を思いめぐらしています。

私が長崎小学校にお世話になったのは、平成10年4月からの4年間でした。着任式で、6年生の女児童から、「長崎小学校はとてもよい学校で、みんな仲良しです。」と迎えられました。その言葉通り、元気な挨拶や廊下で合うと「私は〇〇の〇〇です。」と自己紹介してくれる子や、休み時間に校長室に来て友達のこと、家族のことなどを話してくれる子ども達でした。

また、保護者の方々はもとより、地域の皆さまからもたくさんのご支援やご協力を頂き、アツと言う間の4年間でした。

そんな中でも、特に思い出に残っていることは、夏休み中の突貫工事により校舎内の全てが板張りに変わったことです。それまでの味気ないコンクリートから木目の温かな校舎に生まれ変わりました。

子ども達は、床に座り・寝転んで木の感触を味わい、喜びに浸っていました。もう一つは、寂しいことでしたが、平成10年度で、幼稚園が一旦幼稚園に統合され、地域での幼稚園教育の灯が消えたことです。子どもの減少とはいえ、来年の3月で長崎地域から学び舎が無くなることは残念ですが、教育熱心な地域でもあり、学校教育とはまた違った子ども達への教育がスタートするものと思っています。



校舎内板張り校舎（平成10年の夏休み中）



板張り校舎での授業風景



長崎幼稚園閉園記念植樹  
平成11年3月16日

政岡祭り鼓笛隊演奏行進 平成10年4月29日







# 沿革

年月日	概要
平 20. 6. 14	岩手・宮城内陸地震が発生
平 20. 9	「よい歯の学校」表彰
平 20. 10	地震復興校舎補修工事
平 20. 12	理科特別授業「梵天丸」
平 21. 10	学力向上サポートプログラム公開授業
平 21. 11	理科特別授業「LED」
平 21. 1. 23	食育コンサート
平 21. 2. 26	米・食味鑑定コンクール金賞
平 22. 10. 19	科学巡回指導
平 22. 11. 6	県赤十字社指定「JRC実践発表会」
平 23. 3. 11	東日本大震災が発生
平 23. 4. 7	東日本大震災余震
平 23. 11. 24	理科特別授業（LED、梵天丸）
平 23. 11. 23	米・食味鑑定コンクール特別賞受賞
平 23. 4～12	地震復旧工事（体育館、プール、コンピュータ室）



栗原市小学校陸上競技大会



JRC実践発表会 長崎ふるさと太鼓

政岡祭り 鼓笛パレード





田植え  
稲刈り  
稲こき



運動会 栗原音頭



運動会 一輪車



運動会





# 在校生から

長崎小  
学年文へ  
2年かんがば、ておろこ  
をまも、てくれてありが  
うございました。

長山小1年かん  
ありがとう

長崎小学校は人数  
が少ないけど元気が  
いっぱいあ、ていい学校  
でした。

わたしは3年間長崎小学  
校にかよ、ていて運動会  
や発表会などがあ、てても  
楽しい毎日でしたわたしは長崎  
小学校にかよ、てよかったです。

長山小1年かん  
3年間勉強させて  
くれてありがとうご  
ざいました。

長崎小学年文へ  
1年ちょっとでしたがありが  
うございました。

運動会のリレーでみんな  
で協力しながら  
走ったことが一番の思い出  
です長崎小ありがとう

1年~2年生までおたふしとい  
ななでいた、て4年生にな  
たらみんなと遊べるよにな  
りました  
長崎小学年文4年間ありが  
うございました





# 在校生から

長小は人数が少ないし、  
の学校とはちがう行事があ  
るのでこの学校で5年間すご  
して良かったです。

私はおち園のころ、ずと  
一泊山に行きたいと思ていま  
した。でも長小に来たので  
す。ようち園ではだれとも  
遊んだことがなかつたけど  
みんなと仲良くなれました。  
長小のおかげです。  
ありがとう

ほくの長山奇小での  
一番の思い出はみんなと  
たのびたこと。あんなに  
合ったこと。ことです。

ぼくが一番の思い出は  
陸上で自己新記録が  
できたことです。ぼくは、  
この長山奇小学校で  
卒業したからです。

私の一番の思い出は運動会です。  
長小の校庭で4回やり、体  
育館で1回やりました。とて  
も楽しかったです。長小で卒  
業したことが、仕方がないの  
で卒業します。ありがとう。

5年間お世話になりました。  
1年生の時はじめて田  
植えができてそれが  
一番の思い出です。

ぼくが一番の思い出は、  
水泳です。速くなったこと  
です。でも長小がなければ  
速くなかなかたと思ひます。  
長小があって良かったです。

私の長小での一番の思い出  
は水泳が速くなったこと  
です。また足が速くなったこ  
です。1年という短い間が  
たけど長小ですごしてよかったです。





# 在校生から

みんなの長崎小学校へ  
 たくさんの思い出がつまってい  
 る長小はとても楽しかったです。  
 私たちが最後の卒業生だと思  
 うとすごく悲しいです。6年間お世話  
 になりました。ありがとうございました。

ありがとう長崎小  
 長い間ありがとうございま  
 した。そして、おつかれさまでし  
 た。またいつか会おうね!!

楽しかった長崎小学校へ  
 長い間ありがとうございました。  
 友達かできてとても楽しい  
 思い出になりました。

またいつか長崎小学校  
 この6年間本当にありが  
 とうございました。  
 いつか長崎小学校を卒業  
 したみんなと会える日を  
 楽しみにしています。

ほりの長崎小学校へ  
 この学校には6年間ほりは  
 ほくたちは最後の卒業生と  
 てほりに思っています。ありがとう

長崎小学校へ  
 この6年間ありがとうご  
 ざいました。たくさん思い  
 出がつくれました。

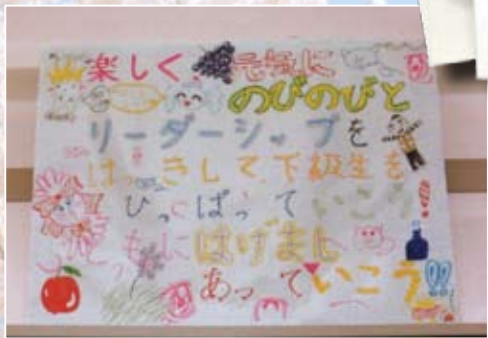
いままでありがとう  
 地震のときも長崎小学校  
 におまないて  
 いてくれてありがとう  
 6年間本当にありがとうございました

大好きな長崎小学校へ  
 この6年間ありがとうござ  
 いました。ほくはこの学校で  
 学べたことをほりに思ひま  
 す。本当にありがとう!!!





思い出の  
アルバム





授業の様子



授業参観



給食風景



長崎太鼓



政岡まわり





持久走大会



交通教室



野外活動

花山少年自然の家



松島



夏のおもいで



トーテムポール製作



美化活動

茶道教室







グラウンドゴルフ



町内フットボール大会



あおぞら祭り



スクールフェスティバル



音楽祭



第48回栗原郡小中学校音楽祭





大運動会





市陸上大会





西部水泳大会





修学旅行





学習発表会





田の草取り





稲刈り・稲こき







集合写真





## あともぎ

栗原市立長崎小学校  
教頭 小野寺 直樹

この度、本校の閉校記念誌を作成するにあたり、栗原市長佐藤勇様、栗原市教育委員会教育長亀井芳光様をはじめ、歴代校長先生及び卒業生の皆様に御寄稿いただきましたことに感謝申し上げます。また、行政区長様をはじめ、多くの方々の御協力をいただきまして発刊し、長崎地区の全世帯に配布する運びとなりましたことに、心から御礼申し上げます。

この記念誌は、学校の閉校に際して「何か残るものを」とPTAの方々から声が挙がり、長崎小学校の歴史や活動の様子を残そうと作成したものです。長崎小学校は、学校開設以来、明治、大正、昭和、平成と長きにわたって多くの卒業生を送り出してきました。寄稿文や寄せ書き、沿革や写真などを御覧になった方々には、学校の歴史や、その時その時の活動の様子を振り返っていただけるものと思います。また、閉校記念のホームページを作成し、栗原市ホームページに掲載しております。栗原市在住の方や県内外の皆様にも御覧いただけるものとなっております。

今回の学校再編にあたりましては、一迫地区小学校再編準備委員会の皆様、栗原市当局、栗原市教育委員会の皆様の御支援御協力のもとに、計画の作成や児童の交流など一迫地区4小学校が連携を図りながら準備を進めております。平成25年4月からは新生一迫小学校が開校となります。

学校が新たな歴史をつくり、一迫地区の児童が更なる成長をしていくために、今後も一層の御指導御支援を賜りますようお願い申し上げます、あともぎといたします。



## 栗原市立長崎小学校閉校記念誌

発 刊 平成25年3月  
発 行 栗原市教育委員会  
企画・編集 栗原市立長崎小学校  
栗原市立長崎小学校PTA



